

## 昭和38年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

### 第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して  
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

### 第2部 選定題目講演会

天気9月号表紙の日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

## 第10回 風に関するシンポジウム

参加学会：土木学会、日本海洋学会、日本気象学会、日本建築学会、日本地震学会、日本地理学会、日本農業気象学会、日本林業会、日本航空学会（幹事）

会期：昭和38年11月25日（月）9：30より

会場：気象庁第1会議室（千代田区大手町1-7）

研究発表（9：30～16：00）：

1. 山本良三（名大農）：強風による樹木の倒壊の機構解析ならびにその対策について
2. 内島善兵衛（農技研）・J.Wright (Cornell Univ.)：トウモロコシ植被層内の風について
3. 川村純夫（京大防災研）：風による塔状構造物の自励振動についての考察
4. 石崎啓雄・中村貞雄（京大防災研）：風洞による鉄塔模型の振動実験
5. 石崎啓雄・許昌九（京大防災研）：角柱表面に作用する風圧変動について
6. 石崎啓雄・桂順治（京大防災研）：台風時における木造家屋の被害分布
7. 棚橋諒・石崎啓雄・光田寧（京大防災研）：京都大学防災研究所潮岬風力観測所に設置された風の測器について
8. 光田寧（京大防災研）・水間満郎・佐橋謙（京大理）：超音波風速計について

9. 竹内清秀（気象庁）：風速計（三杯およびエーロペーン）の動特性について
10. 岡本雅典（気象大）：夜間の温度変動と放射束発散
11. 塩谷正雄（鉄道技研）：突風率（ガストファクター）に対する一考察
12. 竹内清秀（気象庁）：接地気層における風速変動のオイラーおよびラグランジ相関係数について
13. 鈴木清太郎（気象大）・矢吹万寿（大阪府大農）：山越気流の研究 VII. 特にフェーン風による火災の真原因について
14. 河村武（気象庁東管）：北海道に於ける冬の地上風の分布
15. 吉野正敏（教育大地理）：谷風の範囲について
16. 根本茂（気象研）：人工砂丘の防風効果の観測例
17. 塩谷正雄・村田千秋（鉄道技研）：築堤周りの風特別講演（16：00～17：00）
  1. 坂上治郎（お茶の水大）：ドイツにおける乱流研究
  2. 佐貫亦男（東大工）：各国のロケットによる上層風観測の現況

（以上）

## 1月例会の研究発表募集

主 題：気候とくに「日本の大雨分布」  
と「気候異変の地域性」

会 期：昭和39年1月24日（金）

会 場：気象庁第一会議室

申込先：東京都文京区大塚窪町24

東京教育大学理学部地理学教室内  
吉野正敏

主 題：太陽活動・放射

会 期：昭和39年1月31日（金）

会 場：気象庁第一会議室

申込先：東京都杉並区馬橋 4-499 気象研究所  
関原 肇

主 題：気象電気シンポジウム

会 期：昭和39年1月21日（火）

会 場：理科大学

申込先：東京都杉並区馬橋 4-499 気象研究所  
北川信一郎